

回覧

プリズム

PRISM

～男女共同参画社会をめざして～



PRISMとは

プリズムを通る光は、多方面に分かれて進みます。
そこで、多様な価値観をそれぞれが認め合えることをめざして、
情報誌の名前にしました。

Contents

- 1 「子育てしやすさ」の育て方～「休みづらい」を乗り越える～ P1
- 2 いちはらで子育てをしよう! P2
- 3 他市の子育て支援事業 P2
- 4 パパ、なにしてる?うちのパパは消防士!! P3
- 5 市原市役所で管理監督職として働く女性建築職員にインタビュー P3
- 6 市原市観光協会の女性職員にインタビュー P4
- 7 ジェフレディースの選手にインタビュー P5
- 8 市内県立高校2校で女子生徒の制服が選択制へ P6
- 9 市民編集員のコーナー P6

「子育てしやすさ」の育て方 ～「休みづらい」を乗り越える～

育児休業・育児休暇といったいわゆる「育休」は、「イクメン」という言葉とともに、徐々に社会に浸透しています。現在、男性の育児休業取得率は6.16%（平成30年度雇用均等基本調査 引用：厚生労働省）で、政府目標の「2020年で13%」には及びませんが、前年度比で1.02ポイント上昇しています。最近では、男性政治家が育児休暇を取得するニュースも話題になりました。

育休の期間とその後

女性は9割近くが「6か月以上」の育児休業を取得しているのに対し、男性は「1か月未満」が81.0%、「5日未満」が36.3%です（同調査）。子育てには「生まれて〇ヶ月でひと段落」という区切りがないですし、成長には個人差もあり、定期通院が必要な場合もあります。また、急な発熱などは日常茶飯事です。「子どものことが心配だけれども、仕事を休みづらい」と、休むことを躊躇する男性が、やはり多いようです。

休みづらい人たち 一気まずさを感じるのはどうして？

育児休業の調査では、「利用したかったが、できなかった」という男性が3割で、「業務が繁忙で人手不足（27.8%）」という理由以外に、「取得しづらい雰囲気だった（25.4%）」という男性が目立ちます（平成29年度仕事と育児の両立に関する実態把握のための調査 引用：三菱UFJリサーチ&コンサルティング）。

「私作る人、ボク食べる人」「24時間戦えますか」というキャッチコピーに象徴される「妻が家庭で育児や家事全般を担い、夫は家族を犠牲にして長時間働く」という男女の役割分担の時代が長く続いたことで、「育児は母親のもの」という潜在意識が今も残っているようです。この傾向は、何と子育て先進国と言われている北欧・フィンランドでも見られており、大半の父親が、延べ9週間ある「父親休業」を、子供が生まれた直後の3週間しか取得しないという話もあります（引用：朝日新聞withnews フィンランド・ペコネン社会保健大臣取材記事）。

また、「一致団結」「場の空気を読む」「周囲に迷惑をかけることを控える」という、日本人の美德とされる価値観も、日本の子育て世代への「見えない圧力」となり、休むことを控えさせているようです。

育休を取りやすくするために

休みを阻むもののひとつに、職場の「雰囲気」があります。急な解決は難しいかもしれませんが、休んでも同僚がフォローできるような仕事をシステム化し、休んだ人を責めないよう周囲が心がけ、育児に積極的な職員を評価するようなコミュニケーションが増えれば、未来は明るくなるのではないのでしょうか。

そして何よりも大事なことは、親自身が子育てを楽しむことです。『子育てについて職場で楽しく話す人』が増えれば増えるほど、育休を取り巻く「雰囲気」は明るくなっていくと思います。

いちはらで子育てをしよう!

市原市では、子育てネウボラセンターを開設し、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援のため、相談や各種事業を行っています。

ここでは、子育てネウボラセンターで行っている事業をいくつか紹介していきます。

～子育てネウボラセンター相談専用ルームMOM(ママ)～

母子健康手帳交付の際に、妊婦さん全員に対して、専門の保健師等が、妊娠、出産、子育てなどのサービスの紹介や保健指導を行っています。妊娠や出産について心配なことや相談がある方は是非利用してみたいはいかがでしょうか。

～産後ケア事業～

産後2か月未満の赤ちゃんを抱え、家族等からの支援が十分に受けられないなど、育児に不安があるお母さんで、サポートが必要な方を対象に、医療機関等にて宿泊または日帰りで、赤ちゃんのケアや育児指導、子育てや生活の仕方に関する相談を行っています。

それ以外にも市原市では、妊娠・出産・子育てに関する様々なサポートを行っています。様々な事業を有効活用してみたいはいかがでしょうか。

市原市子育てネウボラセンター (平日午前8時30分から午後5時15分)

〒290-8502 市原市更級5丁目1番地27保健センター内

電話:0436-23-1215 FAX:0436-23-1295

教育施設課 Sさん

他市の子育て支援事業

【千葉県流山市】

「母になるなら、流山市。」をテーマに様々な子育て環境の整備支援を行っています。その内の1つに『送迎保育ステーション』という事業があります。これは、通勤時に南流山駅前と流山おおたかの森駅前に併設設置されている送迎保育ステーション施設へ子どもを預けると、保護者の代わりに流山市内の駅から離れた保育所へ送迎してくれるシステムです。これにより、預け先の保育所が自宅から遠い場合や、保育所の開所時間が合わないなど、通勤時間の調整が困難な保護者の負担軽減につながります。

【岡山県奈義町】

同町は、H23に「子育て応援宣言」を行い、子育て世代のニーズに応じたきめ細やかな施策を展開。H17に1.41だった合計特殊出生率(女性が一生に産む子供の数)をH26には、2.81に引き上げ、現在も高い水準を維持している自治体です。具体的には、高校3年間就学支援金の給付(9万円/年)や高校卒業までの医療費無料化、多子になるほど手厚くなる支援制度、子育て世帯向けの戸建て賃貸住宅、さらに、子育て中の保護者から、子どもと一緒に短時間でできる仕事が欲しいとの希望を叶えるため、『しごとコンビニ』を立ち上げました。

しごとコンビニ…繁忙期や少量の仕事をちょっとだけ手伝ってほしい事業所と、子育て中の空いた時間でちょっとだけ仕事をしたい保護者や高齢者をマッチングさせ、プチ収入の確保と地域経済の活性化を目指す事業。

教育施設課 Kさん

パパ、なにしてる？うちのパパは消防士！！

この度の台風、竜巻、水害などで被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、10月12日（土）8時頃、下野、永吉及び潤井戸地区において竜巻が発生しました。この竜巻において、多くの住民の方が被災されました。市津消防署では、庁舎や消防車両などに大きな被害が発生しましたが、署員全てに招集命令が発せられ、一丸となって救助、安否確認などの活動にあたりました。

今回は、二交代制で24時間勤務に就いて、自然災害、火災、事故などの現場で活動している消防職員のライフスタイルをピックアップさせていただきました。

市津消防署では、子育てをしながら交代制勤務に就いている職員が多くおり、火災、救急出動などで疲労して帰宅することも度々・・・。

さて、非番日の消防職員は、一日をどのように過ごしているのか、救急隊員として勤務している二児のパパに聞いてみました。



救助訓練中の様子



市民の安心・安全を守るため「もっと、前へ」

Q. 非番日はどのように過ごしていますか？

A. 共働きをしているので家事や育児は互いが協力しあっています。

平日に非番で休みの日が多いので妻が働いている間や子供たちが学校へ通っている間に、食材の買い物、料理、掃除などを行うようにしています。

また、家事・育児の合間を利用し、自己研鑽のため、各種研修等に参加したり、消防音楽隊の定期練習に参加したりしています。ショッピングモールや公共施設などで演奏

し、防火思想等の普及啓発活動に取り組んでいます。

もちろん、火災、台風、豪雨などの大規模な災害が発生した場合は、招集命令を受け、直ちに参集し災害対応にあたっています。

Q. 災害時は、家族を残して勤務に就くことについて不安はありませんか？

A. 家族や家も一大事なときに、長時間に亘り不在となりますので不安はあります。

しかし、「災害が発生したときに活躍するのがパパの仕事」と子どもたちは理解してくれています。また、私の代わりに頑張って家族を支えてくれている妻に感謝し、また、信頼し全てを任せられるので、全力で災害時の活動にあたる事ができています。



市原市役所で管理監督職として働く女性建築職員にインタビュー

Q1:入庁時、建築職の職場の雰囲気は?

男性が多い職場でしたが、私は意識していませんでした。逆に、男性の方が女性の扱いに困っていたと思います。

Q2:仕事と家事の両立で工夫していることは?

まず仕事についてですが、当時、出産8週後に復帰することが通例でした。一人目の子が生まれたときに、産後1年休暇を取得できる制度ができ、同期でも数人1年間の休暇を取得しており、取得するか悩みましたが、両親に子供を預けることができたので結果として、8週後に復帰しました。ただその代わりに、時間休を貰いながら、仕事と子育てを両立していました。

家事については、妥協しています。人間は完璧ではないため、折り合いをつけて行うことが大切だと思います。

Q3:男女共同参画についての所感は?

近年、変わったと感じるのは、男性が外で夕飯の献立について話していたり、抱っこ紐で子供を抱えていたりしている光景が多く見られるようになったことです。以前は、「男性は外で働き、女性は家を守る」という考え方が主流で、男性が家事・育児をすることで、女性が世間から批判的に思われることが少なくなかったように感じます。近年の、このような男性の光景を見ると、制度とともに、周囲の人の理解が進み、環境が整いつつあることを実感します。

現在は、女性の自立や経済的な理由により、男女問わず家事・育児に参加する必要があります。女性だけでなく男性ももっと育児休暇を取得しやすい環境になってほしいと思います。

建築指導課 Kさん

市原市観光協会の女性職員にインタビュー

最近、観光分野では女性をターゲットにしたものが多く、女性の意見は大変重宝されています。

Q1:観光協会で働くことを決めた経緯は?

「旅行が好きだから!」ということが一番の理由です。

小湊鉄道やアート等の資源、環境保全・祭りの運営に取り組む団体が豊富な市原は、旅先に選ばれる要素を秘めた働きがいのある場所だと感じています。

Q2:仕事をしていて環境は変わりましたか?

地元の方も世間話に立ち寄ることもありますが、その話の中で観光案内のヒントになるものも多くあります。観光客や地元の方が立ち寄りやすく、気軽に話ができる点が、市役所や交番にはできない観光協会の特徴であると思っています。

Q3:今後について

私たちの支えとなっているのは、観光案内をしたお客様からの感謝の言葉です。中には観光を終えた後に、わざわざ案内所まで戻ってきてお礼をしてくれた方もいて、とても感動しました。

「市原を楽しんで、笑顔で帰ってもらえるよう、身近な協会を引続き目指していきます!」



観光振興課 Sさん



ジェフユナイテッド市原・千葉 レディース GK 17 山根 恵里奈

ジェフユナイテッド市原・千葉レディースは、日本女子サッカーリーグの「なでしこリーグ1部」に加盟する女子サッカーチームです。ジェフレディースの選手たちは、日中はそれぞれの職場で働き、勤務時間後の夜に集まって練習をしています。



今回は、188cmの長身を武器に、なでしこジャパンのメンバーとして2015FIFA女子W杯準優勝に貢献し、海外クラブでの経験もある山根選手にお話を伺いました。

レディースの選手に仕事を!

ジェフに来た頃は、時給制のアルバイトをしながらサッカーをしていました。7・8年前は、ジェフへの入団が決まっても仕事は選手自身で探さなければならず、その状況を変えたいと思い、スポンサー様向けのパーティーで「レディースの選手に仕事をください!」とお願いしました。今ではジェフレディースの社会人選手の多くがジェフのスポンサー企業に雇用していただいています。クラブ・雇用先・選手の間でコミュニケーションがとれていて、サッカーを応援してもらいつつ、仕事も支えてもらえる環境になっているので、スポンサー企業とクラブに感謝しています。



©JEFUNITED

女子サッカー選手が輝けるために

スペインでプレーをしていた時期に、男子チームが使用しているスタジアムで試合をしたときには、約2万3000人ほどの観客が集まり、文化としてサッカーが根付いていることを実感しました。一方で、スペインでも仕事をしながらサッカーをしている女子選手は多く、選手が待遇改善を求めてストライキを起こしたこともありました。女子サッカーの環境改善や地位向上に向けて、自分たちが積極的にアクションを起こすことも重要だと考えています。

未来のなでしこリーグへ

周りの声が気になるかもしれないけど、結局は自分自身がどう思うかだと思います。海外挑戦を決断したときも「行きたいなって思うってことは、行かなかったら後悔するだろうな」と思って。やってみて違うなと思ったら次に行けばよくて、間違ったとか、失敗したとか思う必要はありません。「自分がやりたいかどうか」。それを一番大切にしてください。

試合日程・チーム情報はジェフ公式ウェブサイトをチェック!

女子サッカーの魅力について、「『地道にコツコツ、ひたむきに前向きに』というマインドが見られること」と語ってくださった山根選手。2020シーズンに市内で開催予定のジェフレディースの試合は下記のとおりです。皆さんも是非会場に足を運び、応援しましょう!



- ・4月18日(土) 14時キックオフ ゼットエーオリプリスタジアム VS 伊賀FCくノ一三重
- ・5月16日(土) 17時キックオフ ゼットエーオリプリスタジアム VS セレッソ大阪堺レディース

市内県立高校2校で 女子生徒の制服が選択制へ

高等学校において、女子生徒の制服にスラックスを着用できる学校が増えつつあります。市原市内にある、県立京葉高等学校・県立市原緑高等学校も、来年度4月から女子生徒の制服でスラックスを選択できるようになるということをお話を聞かせていただきました。

質問項目

- ① 女子スラックス導入のきっかけは、何ですか？
- ② 生徒への周知はどのようにします(しました)か？
- ③ スラックス導入にあたり苦慮されたことは、ありますか？

県立京葉高等学校

中村教頭先生(写真右)・石井先生(生徒指導主任・写真左)が教えてくださいました。

- ①本校は自転車通学者が多いので、安全面や冬の防寒が大きな理由です。私(石井先生)は、京葉高校の卒業生で、生徒指導主任になったということもあり、このタイミングで提案しました。制服会社主催の研修会に参加し制服に対する考え方に大きく刺激を受けたことも後押しし、職員会議で提案し理解を得ました。
- ②7月にサンプルができたので、在校生には夏休み前に周知しました。また、中学3年生には、夏の体験入学の時に話しました。
- ③特にありません。制服を変えたわけではなく、スラックスを足しただけなので問題はありませんでした。

【インタビューの感想】

石井先生の熱意と、酒井校長先生(写真中央)の「生徒一人ひとりの個性・特性を大切にすること、全員が生活しやすい環境作りをすること。」との温かいコメントが印象的でした。



県立市原緑高等学校

白鳥教頭先生が教えてくださいました。

- ①以前から話は出ていましたが、決め手となったのはH30の人権週間の期間に実施した職員研修と生徒を対象に行った講演会でした。このことがきっかけとなり、冬の防寒、安全面を考慮して、スラックスを取り入れることに決めました。
- ②12月末に在校生へ周知しました。来年度の新入生には、3月の入学許可候補者説明会で説明する予定です。
- ③本校はリボン・ネクタイの着用が必要であるため、新たに加わるルールなど、職員の共通理解を図るための会議は何回か行いました。

【インタビューの感想】

職員の意見や生徒の気持ちを考慮し、丁寧かつ慎重に進めてきた様子がよくわかりました。



どちらの学校も全国的な傾向だからという短絡的な考えではなく、職員研修を行い、その中で制服に対する意識改革、理解をし、十分な話し合いの上で実施に踏み込んでいるということがわかりました。ご協力ありがとうございました。

市民編集員 戸谷 久子さん

2019年4月に「性暴力被害に関する刑法の規定見直し」を訴える運動が始まり、全国に広まりました。これまで「個人的なこと」として声を上げられなかった方々が、自分以外の人も悩んでいたことを知り、行動するようになりました。一方、「私が悪いから、私にスキがあったから」とってしまう被害者が多くいます。「被害にあったあなたは決して悪くない」のです。ぜひNPO法人千葉性暴力被害支援センターちさとにご相談ください。「性暴力被害支援ダイヤルほっとこーる043-251-8500」は24時間対応です。

DV等家庭相談(人権・国際課)

配偶者からの暴力にお悩みの女性のために、専門の女性相談員による相談を行っています。

相談日：火曜日から金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）

相談時間：午前9時30分から午後5時15分

予約・問合せ先：☎0436-23-9787

女性のための相談(人権・国際課)

家族や人間関係、心身のことなど女性相談員による相談を行っています。

相談日：第1、第2、第4月曜日(祝日、休日を除く)

相談時間：午前10時から午後4時(要予約)

予約・問合せ先：☎0436-23-9826

●参考

《市原市男女共同参画社会づくりプラン》

ホームページアドレス

<https://www.city.ichihara.chiba.jp/kurashi/jinken/danjyokyodousankaku/plan2017.html>